

2026年度

審判講習会

2026年3月7日

伝達内容

- 2026年度競技規則修改正
- 広告規程について
- 公認審判員制度改正について
- 東京世界陸上事例
- JTO/各種全国大会報告
- 質疑応答

競技規則等の入手方法

- WAの競技規則等の開示

- 紙ベースのルールブック（COMPETITION AND TECHNICAL RULES）廃止
- 全て WAのWebサイト（ホームページ）を通じて

- JAAFの競技規則等の開示方法

- 紙ベースの「ルールブック」およびJAAFのWebサイト（ホームページ）

競技規則等の入手方法

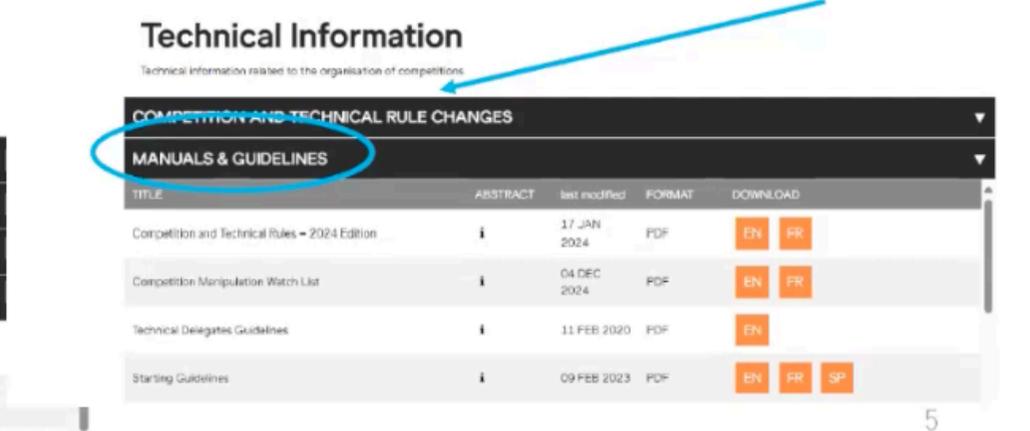
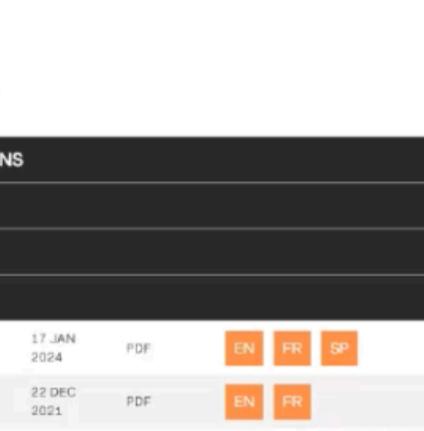
●WAのWebサイト①

<https://worldathletics.org>

The screenshot shows the World Athletics website interface. At the top left is the World Athletics logo. The main navigation menu includes: Home, News, Watch, **Competitions** (circled in blue), Athletes, Stats, Ultimate, Better World, and Shop. A secondary menu includes: World Athletics Partner SEIKO, Inside World Athletics, Museum, Library, Search World Athletics, and Sign In. Below the navigation is a banner for the World Athletics Championships Tokyo 25, September 13-21, 2025, with a SEIKO Countdown timer. A secondary navigation bar contains: Competitions Home, Calendar & Results, Tickets, Hosting, Our Sport, **Rules & Regulations** (circled in blue), Competition Performance Ranking, and Competitions Archive. Below this is a green bar with the text "Rules & Regulations" and "Athletics at your fingertips, sync your calendar now" with an "Add to your calendar" button. The main content area is titled "World Athletics Series" and features four event cards: 1. World Athletics Championships TOKYO, Next Event 13-21 SEP 2025. 2. World Athletics Indoor Championships NANJING, Next Event 21-23 MAR 2025. 3. World Athletics U20 Championships OREGON, Next Event 04-09 AUG 2026. 4. World Athletics Cross Country Championships TALLAHASSEE, FL, Next Event 10 JAN 2026.

競技規則等の入手方法

●WAのWebサイト②



Technical Information

➤ 投てき物WA認証品リスト

CERTIFICATION SYSTEM

CERTIFICATES - Certified Competition Throwing Implements

i

01 FEB 2025 PDF

EN

➤ 競技用靴WA認証品リスト

ATHLETIC SHOES

TITLE

ABSTRACT

last modified

FORMAT

DOWN

List of approved athletic shoes - certcheck.worldathletics.org

i

20 APR
2024

PDF

EN

競技用靴チェックシステム

<https://certcheck.worldathletics.org>

競技規則等の入手方法

●JAAFのWebサイト①

<https://www.jaaf.or.jp>

The image shows the homepage of the Japan Association of Athletics Federations (JAAF). At the top left is the JAAF logo with the text '日本陸上競技連盟公式サイト' and 'いいね! 3,200' and 'シェアする'. To the right are social media icons for Facebook, Instagram, X, YouTube, and TikTok. A yellow box highlights the '委員会情報' (Committee Information) link in the top navigation bar. Below the navigation bar is a 'Pick up!' section with news items. The main banner features an aerial view of the National Stadium with the text '国立競技場' and two event announcements: 'ゴールデングラプリ陸上2025東京 2025年5月18日(日)' and '第109回日本陸上競技選手権大会 2025年7月4日(金)~6日(日)'. On the right side, there is a list of upcoming events with dates and names.

委員会情報

JAAF 日本陸上競技連盟公式サイト
いいね! 3,200 シェアする

会員登録・エントリー | 日本陸連について | **委員会情報** | Japanese

HOME チームJAPAN ニュース 大会情報 普及・育成・強化 日本記録 フォト・動画 陸上競技ガイド 陸上競技歴史

Pick up! 【日本選手権/GGP】国立競技場開催! | 【東京2025世界陸上】ネーミング投票実施中! | 【JMCシリーズ】最新活報 | 【壁紙カレンダー】2月は三浦龍司! | 【お知らせ】▶D&Iの推進▶ホラナイフ▶RIKUJO JAPAN▶

国立競技場

ゴールデングラプリ陸上2025東京
2025年5月18日(日)

第109回日本陸上競技選手権大会
2025年7月4日(金)~6日(日)

2025/2/9 (日)
第53回全日本実業大会
(山口・山口)

2025/2/9 (日)
第10回全国 U17、カントリー大会
(滋賀・希望が丘)

2025/2/9 (日)
第36回全日本びわこ大会
(滋賀・希望が丘)

競技規則等の入手方法

●JAAFのWebサイト②

The image shows a screenshot of the JAAF (Japan Association of Athletics Federations) website. The main navigation bar includes links for HOME, チームJAPAN, ニュース, 大会情報, 普及・育成・強化, 日本記録, フォト・動画, 陸上競技ガイド, and 陸上競技ヒストリー. A yellow box labeled "委員会情報" (Committee Information) points to the "委員会情報" link in the navigation bar. Below the navigation bar, there is a "Pick up" section with various news items. A sidebar on the left contains a menu with items like "日本陸連について", "団体情報", "委員会情報", "専門委員会について", "競技運営委員会", and "施設用器具委員会". A yellow box labeled "競技運営委員会" (Competition Management Committee) points to the "委員会情報" menu item. The main content area features a red header "委員会情報" and a sub-header "専門委員会について". A list of committees is shown, including "競技運営委員会" (Competition Management Committee), "指導者資格委員会" (Coaching Qualification Committee), "施設用器具委員会" (Facility Equipment Committee), and "科学委員会" (Science Committee). A yellow box labeled "各種規程・ガイドライン等" (Various Regulations, Guidelines, etc.) points to the "各種規程・ガイドライン等" link in the sidebar. Another yellow box labeled "ルール・ハンドブック" (Rules Handbook) points to the "ルール・ハンドブック" link in the main content area. The "ルール・ハンドブック" section is expanded, showing the "陸上競技ルールブック2024" (Athletics Rules Book 2024) and "ワールドアスレティックス規則及び国内適用" (World Athletics Rules and Domestic Application). A yellow box labeled "各種規程・ガイドライン等" also points to the "各種規程・ガイドライン等" link in the sidebar, which lists various regulations and guidelines.

委員会情報

各種規程・ガイドライン等

委員会情報

専門委員会について

詳細はこちら

日本陸連は、陸上競技の発展と

- 競技運営委員会
- 指導者資格委員会
- 施設用器具委員会
- 科学委員会

競技運営委員会

ルール・ハンドブック

陸上競技ルールブック2024

正誤表 ※2024.05.24現在

- 陸上ルールブック2024
 - 全ページ
 - 目次
- ワールドアスレティックス規則及び国内適用
 - 最新の改正
 - 二語並に適用される改正
 - ワールドアスレティックス規則
 - CUA 独自の適用規則
 - CUA 参加資格規則
 - CSJ 競技者代理人規則
 - D&I アンチ・ドーピング規則
 - DS-2 競争および表彰に関する手続き

各種規程・ガイドライン等

日本陸連について

各種規程・ガイドライン等

- 競技運営委員会規程
- 指導者資格委員会規程
- 施設用器具委員会規程
- 専門委員会選出規則
- 個人情報管理方針
- 委員会規程
- 陸連に関するガイドライン
- 評議員選出規程
- 倫理委員会規程
- 不審申立委員会規程
- 日本費用管理委員会等規程
- 寄付金等規程



日本陸連について

[日本陸連について](#)

[団体情報](#)

[委員会情報](#)

[関連団体](#)

[登録について](#)

[各種規程・ガイドライン等](#)

ルール・ハンドブック

陸上競技ルールブック2025

正誤表 ※2025.05.21現在

2025年4月より全国の書店店頭での販売はせず、Amazon、陸上競技社サイトのオンライン販売のみとなります。

👉 [陸上競技社サイトからのご注文 \(2,450円 送料無料\)](#)

👉 [Amazonからのご注文 \(2,200円\)](#)

競技規則等の入手方法

●JAAFのWebサイト③

日本陸連について
団体情報
委員会情報
専門委員会について
競技運営委員会
施設用器具委員会
科学委員会
医事委員会
医事委員会フットボール部

委員会情報

専門委員会について

詳細はこちら

日本陸連は、陸上競技の発展と

- [競技運営委員会](#)
- [指導者養成委員会](#)
- [施設用器具委員会](#)
- [科学委員会](#)
- [医事委員会](#)
- [医事委員会スポーツ栄養部](#)
- [医事委員会トレーナー部](#)

競技運営委員会

WRK対象競技会について

- 2023年からのWAへの記録申請について掲載しております。



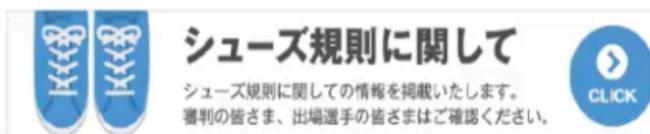
ワールドランキングコンペティション
(WRK対象競技会)について

「WRK対象競技会」は競技会を開催するの日前までに所定の手続きにて申請・承認が必要です。
主催者や出場選手・関係者の皆さまはご確認いただきますようお願いいたします。

CLICK

シューズ規則改定について

- シューズ規則に関する情報をまとめて掲載しております。



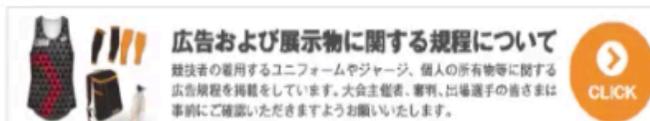
シューズ規則に関して

シューズ規則に関しての情報を掲載いたします。
審判の皆さま、出場選手の皆さまはご確認ください。

CLICK

広告規程について NEW *2024年4月更新

- 広告および展示物に関する情報をまとめて掲載しております。
- お問い合わせは[こちら](#)



広告および展示物に関する規程について

競技者の着用するユニフォームやジャージ、個人の所有物等に関する
広告規程を掲載しています。大会主催者、審判、出場選手の皆さまは
事前にご確認いただきますようお願いいたします。

CLICK

公認審判員制度について NEW

- 公認審判員制度についての情報をまとめて掲載しております。



公認審判員制度について

日本陸上競技連盟では1948年から公認審判員制度を設け、競技が公平で信頼できるよ
うに、また競技者が快く競技ができるよう質員の向上を目指し実践してきています

CLICK

アナウンサーのしおりについて *2021年7月19日改訂

しおり	初心者向けしおり	抗議中の競技が行われた場合のコメント例
-----	----------	---------------------

JAAFが定めている記録用紙などの様式

改定内容	各種様式
------	------



日本陸連オンラインショップかアマゾンで購入できます

修正ポイント

競技規則修改のタイミング

●WAの競技規則修改のタイミング

- 従前は : (基本) 毎年8月のCouncil (評議会) で決定、11月～実施
- 最近は : 年3回程度行われるCouncil (評議会) の都度決定。即時実施が多い
軽微なものや運用に関しては不定期に Circular (通達) で

●JAAFの競技規則修改の流れ・タイミング

- 都度 競技運営委員会で検討
- 2月 全国競技運営責任者運営会議
- 3月 理事会
- 4月～ 実施

⇒ WAの修改タイミングとJAAF修改タイミングに「ズレ」あり
今次修改はWAの2025.12.3 Councilまでの決定事項を反映
(2025年のWAの修改 : 3/5、3/25、7/23、9/9、11/1、12/3 6回)
今後、WAの修改内容によっては国内でも年度途中で変更等を行う可能性あり
加盟団体宛通知、陸連Webサイト (HP) にて通知・公知

2025年度修改正 競技会規則【CR】

• 新規種目

➤男女300mH

✓国内規格（2018年度～）

- ・U20、U18
- ・ハードル8台
- ・スタート～1台目：45m、ハードル間：35m、最終ハードル～フィニッシュ：10m

✓国際規格（2026年度～）

- ・一般、U20、U18
- ・ハードル7台
- ・スタート～1台目：50m、ハードル間：35m、最終ハードル～フィニッシュ：40m

➤4×100m男女混合リレー

2026年度修改正 競技会規則【CR】

• CR31.14.4 混成競技の記録の扱い（明確化）①

➤CR31.14.4 以下の場合を除き、TR17.3に違反したら、その記録は認められない。

(a) TR17.3.1と17.3.2に該当する場合。

(b) TR17.3.3と17.3.4が適用される場合で、当該種目での1回目の違反の場合。あるいは、混成競技の個々の種目についてTR39.8.3で認められている不正スタート（1回目の不正スタートの後の2回目以降のスタート）の場合。

→ 混成競技の1回目不正スタート後の2回目以降での他の記録はどう扱うのか

・1回目不正スタート以外の者が世界記録（日本記録）を出した場合はどうなるのか？

・1回目不正スタートの者も含め、2回目の単独種目の記録は公認記録か？

2026年度修改正 競技会規則【TR】

• TR3.3 競技の性別カテゴリー

- ▶ 男性・女性の2つのカテゴリーのみ

生物的？ 社会的？

• TR9 競技区分

- ▶ 男子競技 男子のみで実施し、結果も「男子」のみでグループング
- ▶ 女子競技 女子のみで実施し、結果も「女子」のみでグループング
- ▶ 男女混合競技 男子と女子と一緒に参加し、結果も「男女一体」でグループング
例) 4×400m男女混合リレー
- ▶ 男女同時実施競技 原則、認められない
男子と女子が同時に競技を行うが、結果は「男子」「女子」に分けてグループング
例) 同一時間帯に同じピットで行われるフィールド競技

2026年度修改正 競技会規則【TR】

- **TR5.2 競技用靴①**
- **競技用靴に関する規程（別途説明）**

＜2024年11月1日～＞

種目	靴底の最大の厚さ	要件・備考
トラック種目 ハードル種目 障害物競走	20mm スパイクシューズまたは ノンスパイクシューズ	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 競技場内で行う競歩競技の靴底の厚さは、道路競技と同じとする。
フィールド種目	20mm スパイクシューズまたは ノンスパイクシューズ	全跳躍種目で、本規程10.3および10.4に記載のとおり、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない（前足の中心は、靴の内部の長さの75%にある靴の中心点。踵の中心は、靴の内部の長さの12%にある靴の中心点）。
道路競技（競走・競歩）	40mm	
クロスカンントリー	20mm スパイクシューズ または 40mm ノンスパイクシューズ	競技者はスパイクシューズまたはノン・スパイクシューズ（ロードシューズなど）を履くことができる。スパイクシューズを履く場合、靴底の最大の厚さは20mmを超えてはならない。ノン・スパイクシューズを履く場合、靴底の最大の厚さは40mmを超えてはならない。
マウンテンレースとトレイルレース	制限なし	

2026年度修改正 競技会規則【TR】

- **TR5.2 競技用靴②**
- **競技用靴に関する規程（別途説明）**

<2026年1月1日～>

種目	靴底の最大の厚さ	要件・備考
トラック種目 フィールド種目 (競歩を除く)	スパイクシューズ または ノンスパイクシューズ 20mm	すべての跳躍種目では、前足部中央のソールは踵中央のソールより高くなってはならない。 (競技用靴に関する規程8.3項および8.4項参照： シューズ内部の長さの12%と75%の位置)。
競歩種目 (トラック、道路) 道路競走種目	40mm	
カスケード種目	スパイクシューズ：20mm または ノンスパイクシューズ ：40mm	2026年3月31日まで適用。 競技用靴に関する規程8.6項により、2026年4月1日以降は カスケード種目で着用するスパイクシューズ、ノンスパイクシューズの厚さに制限は設けない。
マウンテンレースとトレイルレース	制限なし	

2026年度修改正 競技会規則【TR】

- **TR5.2 競技用靴③**

(新規追加)

〔国内〕

駅伝競走は道路競走種目と同じ（靴底の最大の厚さ：40mm）とする。
但し、競技会レベルに応じて主催者が適用・非適用を判断することは妨げない。

• **TR8.7** **上訴時の預託金の引上げ** (制定様式変更あり)

<WA>

➤100USドル相当 (約15,000～16,000円)

<JAAF>

(現行)

➤10,000円

(修改正後)

➤**20,000円**

【参考】

<WPA (パラ陸連) > 200ユーロ相当 (国内規則：2万円)

<水泳> 500USドル相当 (国内規則：5万円)

<スキー> 500スイスフラン相当 (約10万円)

2026年度修改正 競技会規則【TR】

- **TR16.5、16.8、16.9** **スタート時に不正スタート等があった際のカード以外での提示**

(現行)

- リコールや不正スタート等があった際には**カード（グリーン、赤黒、黄黒）を示す**

(修改正後)

- カードに代わり、スクリーンに表示したり、ライトタワーに表示したり、スピーカーを使ったり、**視覚的または聴覚的な代替手段を用いてもよい**

2026年度修改正 競技会規則【TR】

• TR17.3〔注釈〕①

- 日本選手権男子400mの事案を受けて**白線を踏むとはどういうことか、どこに注目して監察すべきか**を明確化

<条文>

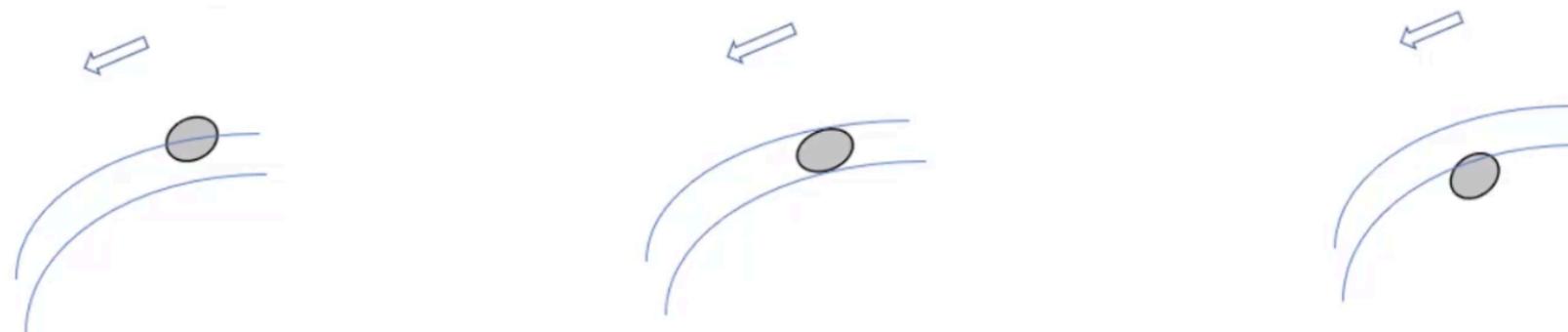
- ✓ TR17.3.3 レーンで行う（一部をレーンで行う場合も含む）全てのレース（TR17.2.4参照）の曲走路で、レーンの左側の白線や走路の境界を示す内側の縁石または白線に1回（1歩）だけ触れた場合。
- ✓ TR17.3.4 レーンで行わない（一部をレーンで行わない場合も含む）全てのレース（TR17.2.4参照）の曲走路で、走路の境界を示す縁石または白線を1回（1歩）だけ踏んだり、完全に越えたり（内側に入ったり）した場合。

2026年度修改正 競技会規則【TR】

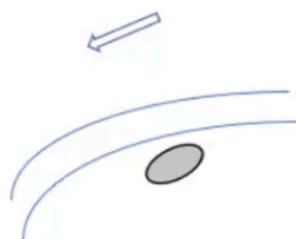
• TR17.3〔注釈〕②

2022年度修改正説明時資料（2021年2月全国会議）

- ・ 1回目（1歩目）は失格としない
（同一種目の次のラウンドに繰越し → 次ラウンドでの1回（1歩）は累計2回で失格



- ・ 1回目（1歩目）であっても失格



2026年度修改正 競技会規則【TR】

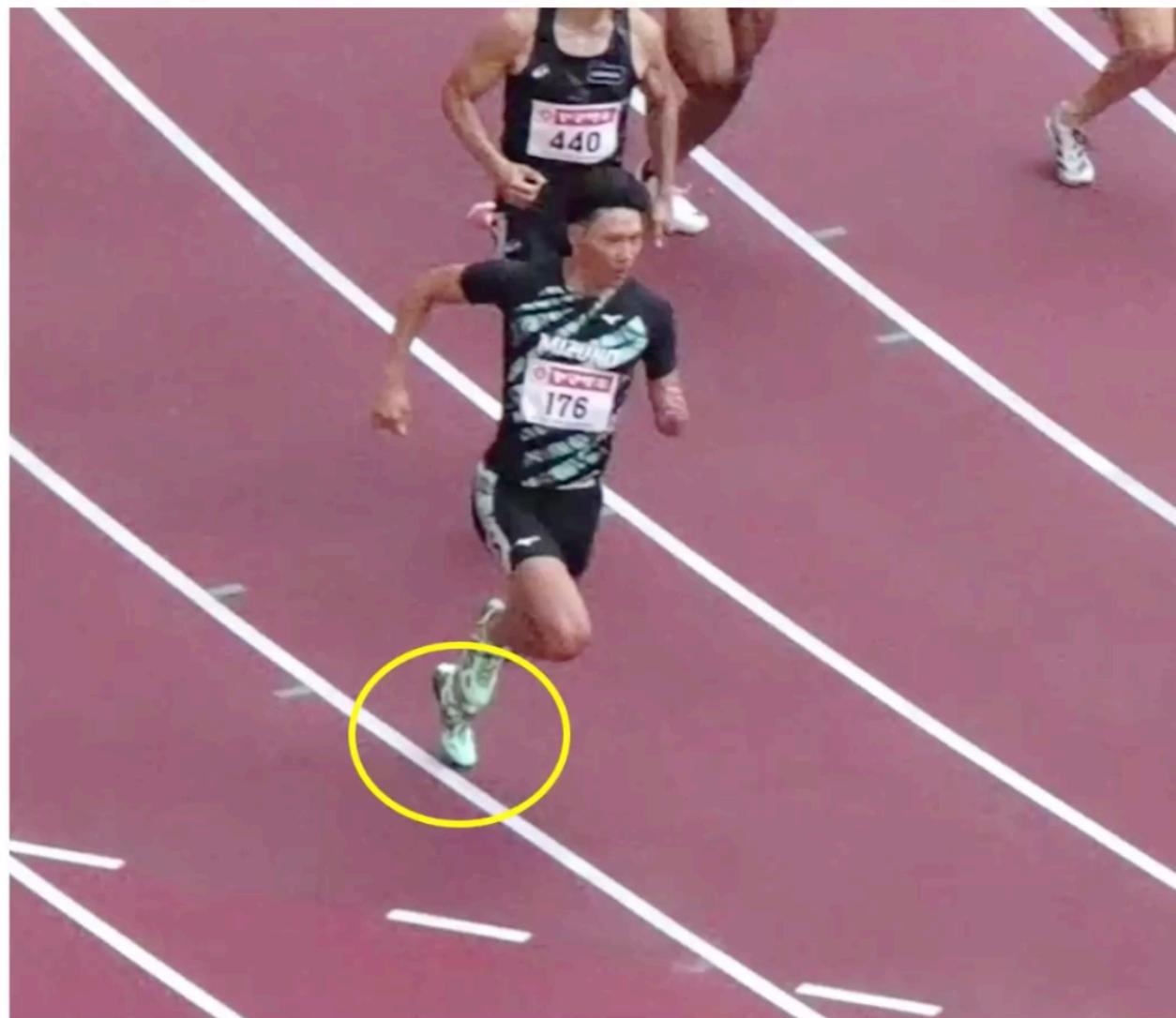
- **TR17.3〔注釈〕③**

＜2025年6月日本選手権
男子400m決勝＞



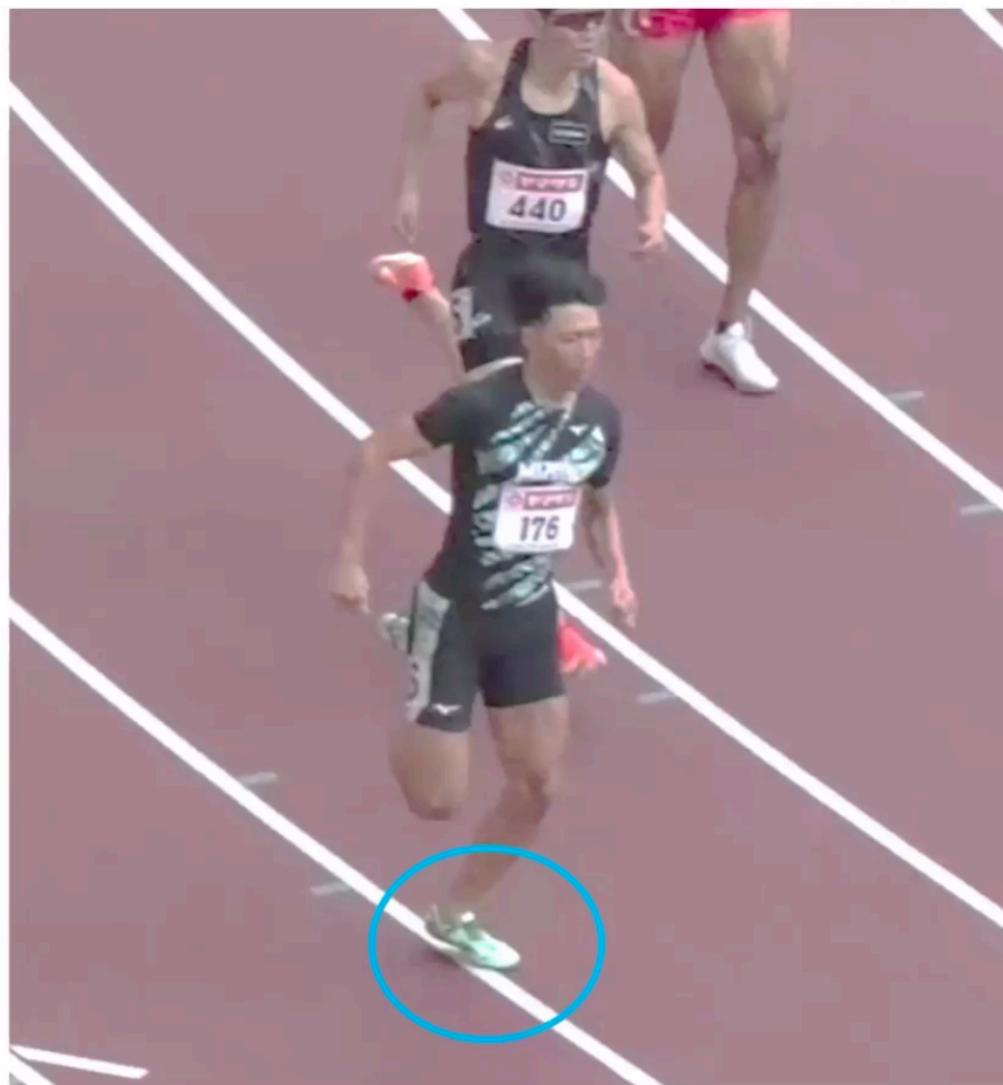
2026年度修改正 競技会規則【TR】

- TR17.3〔注釈〕④



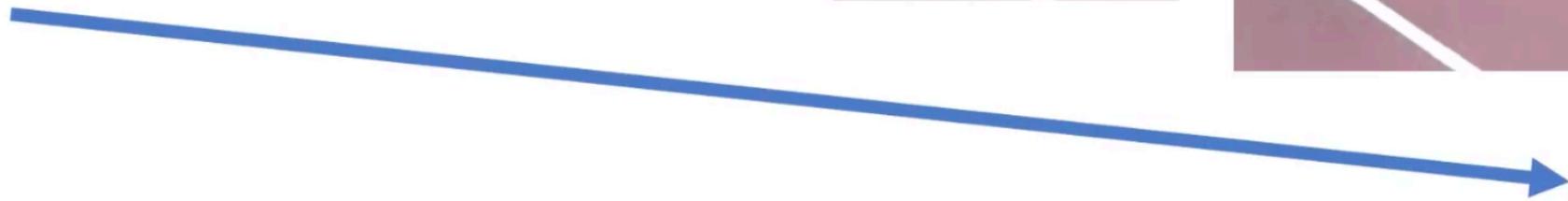
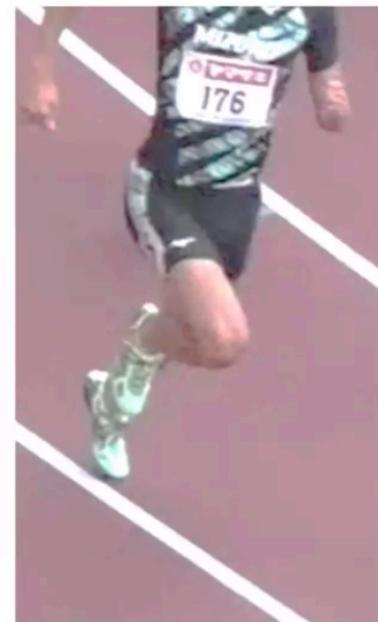
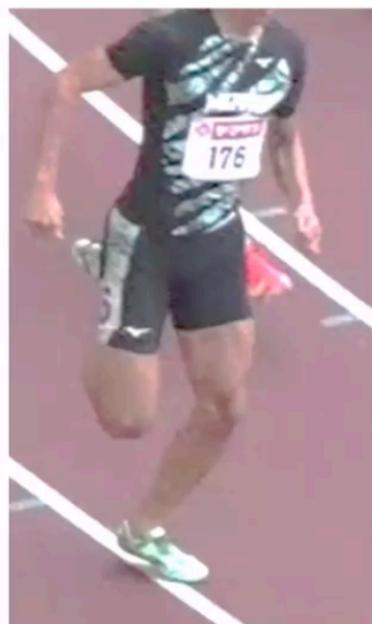
2026年度修改正 競技会規則【TR】

- **TR17.3〔注釈〕⑤**



2026年度修改正 競技会規則【TR】

• TR17.3〔注釈〕⑥



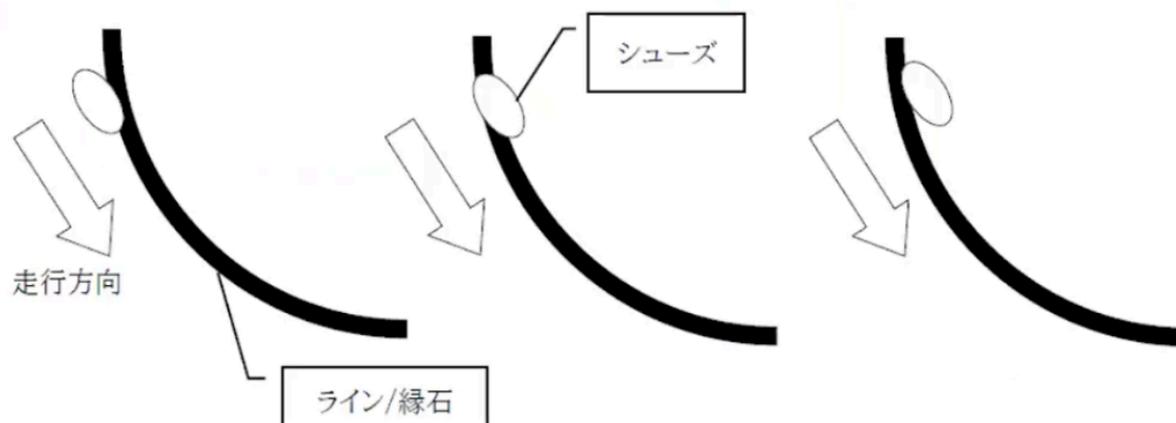
2026年度修改正 競技会規則【TR】

• TR17.3〔注釈〕⑦

(追加)

曲走路の内側を踏んだかどうかの判定は、一歩の中で接地から離地までの間に、一瞬でも内側のラインに触れていれば違反とは見なさない。一歩の動き（接地から離地まで）をよく監察する必要がある。

<違反とならないケース>



2026年度修改正 競技会規則【TR】

• TR17.3〔注釈〕⑧

- ビデオでは「一連の動き」をチェック
- 主催者の判定ビデオだけでなく、チーム（競技者）提供ビデオも判定材料
- 審判長はビデオ映像と監察員からの報告の両方を見て判断
- ビデオがない場合は「監察員の報告」が唯一の判断材料になることも
- 抗議・上訴の説明時に、監察員記録用紙も「エビデンス」として競技者（チーム）に提示することを前提に、簡潔に、きちんと記載する

2026年度修改正 競技会規則【TR】

• TR17.5.2〔国内〕 グループスタートの代用縁石の位置①

(現行)

第1グループと第2グループの走路の間には代用縁石を置き、二つに分ける。
合流地点には他とは異なる彩色の代用縁石を置く。

(追加)

第2グループのスタートは、第1グループと第2グループの走路の間のラインの外端から200mm外方を測り、ライン上に150mm～500mmの高さのコーンを置く(200mm外方スタートライン)。当該箇所またはトラックの改修および公認満了2032年3月31日までの検定までに適用する。

→ スタート位置の移動

【参考】TR14.2〔国内〕

国内の競技場では代用縁石を置くところは縁石とみなし、300mm外方を測る。

2026年度修改正 競技会規則【TR】

- **TR17.5.2〔国内〕 グループスタートの代用縁石の位置②**



2026年度修改正 競技会規則【TR】

• TR20.4.4 300m競走のシードレーン（明確化）

➤ 200m競走・300m競走〔8レーン使用時〕

1～3位グループ 5・6・7レーン

4～6位グループ 3・4・8レーン

7・8位グループ 1・2レーン

⇒ 300mは200mと同じシードレーンとする

2026年度修改正 競技会規則【TR】

• TR20.4 レーンの決定①

シードレーンに関して、WAは種目別に8レーン使用時と新たに9レーン使用
時で異なる考え方を規定

〔8レーン使用時〕 TR20.4.3～20.4.5

〔9レーン使用時〕 TR20.4.6～20.4.8

2026年度修改正 競技会規則【TR】

• TR20.4.6～20.4.8 9レーン使用時のシードレーン①

(9レーン競技場で、9名が出場する場合)

〔国際〕

20.4.6 直線種目 (100m・100mH・110mH 等) [9レーン使用時]

1～3位グループ	4・5・6レーン
4・5位グループ	3・7レーン
6・7位グループ	2・8レーン
8・9位グループ	1・9レーン

20.4.7 200m競走 [9レーン使用時]

1～4位グループ	5・6・7・8レーン
5～7位グループ	3・4・9レーン
8～9位グループ	1・2レーン

20.4.8 400m競走・スタート時にレーンを使用する 800m 競走・

4×400m までのリレー競走 [9レーン使用時]

1～3位グループ	5・6・7レーン
4・5位グループ	4・8レーン
6・7位グループ	3・9レーン
8・9位グループ	1・2レーン

2026年度修改正 競技会規則【TR】

• TR22.1、22.3 300mH ①

〔国内基準〕

- ・2018年度～
- ・対象：U20、U18
- ・ハードル台数：8台（ハードルの位置は、別途、検定）

〔国際基準〕

- ・2026年度～（WAは2025年～）
- ・対象：**一般**、U20、U18
- ・ハードル台数：**7**台（ハードルの位置は400mハードルと同じ）

➤両種目ともに公認記録対象（日本記録対象）として扱う

➤種目名の表記は「ハードルの高さ_台数」（例：914mm_8台、762mm_7台）

2026年度修改正 競技会規則【TR】

• TR22.1、22.3 300mH ④

陸連 25 発 4006-1 号

2025 年 6 月 2 3 日

各加盟団体専務理事・理事長各位

公益財団法人日本陸上競技連盟

専務理事 田崎 博道

WA の 300mH 公認種目認定に伴う国民スポーツ大会、U18 陸上競技大会
での取扱について

平素は、日本陸上競技界発展のため格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、ワールドアスレティックス (WA) は 2025 年 3 月 24、25 日のカウンスル会議にて
300mH を公認種目として認定することを決定しました。しかしながら、本連盟が国民ス
ポーツ大会、U18 陸上競技大会において採用している規格と異なっておりました。
本件に関する取扱について検討しました結果、下記の通りといたします。
関係者へのご周知の程、ご協力よろしく申し上げます。

記

- 2025 年度は、国民スポーツ大会、U18 陸上競技大会は国内規格で実施する。
- 2026 年度から、国民スポーツ大会、U18 陸上競技大会は WA 規格で実施する。

2026年度修改正 競技会規則【TR】

• TR22.6 ハードル競技の失格事由の明確化①

22.6.3 直接間接を問わず、レース中に自分のレーンまたは他のレーンのハードルを倒し、レース中の他の競技者に影響または妨害を与え、他の規則にも違反する行為をした時。

22.6.4 直接間接を問わず、レース中に自分のレーンまたは他のレーンのハードルを移動させ、レース中の他の競技者に重大な影響または妨害を与え、他の規則にも違反する行為をした時。

➤単に倒したり、移動させただけでは失格事由にならない

倒したり、移動させたことによって、他の競技者に影響を与えたか

(例：リズムの変化、ストライドが短くなるまたは長くなる、走る方向の変化、ハードルが移動しなければ起こらなかったハードルへの衝突など)

2026年度修改正 競技会規則【TR】

• TR22.6 ハードル競技の失格事由の明確化②

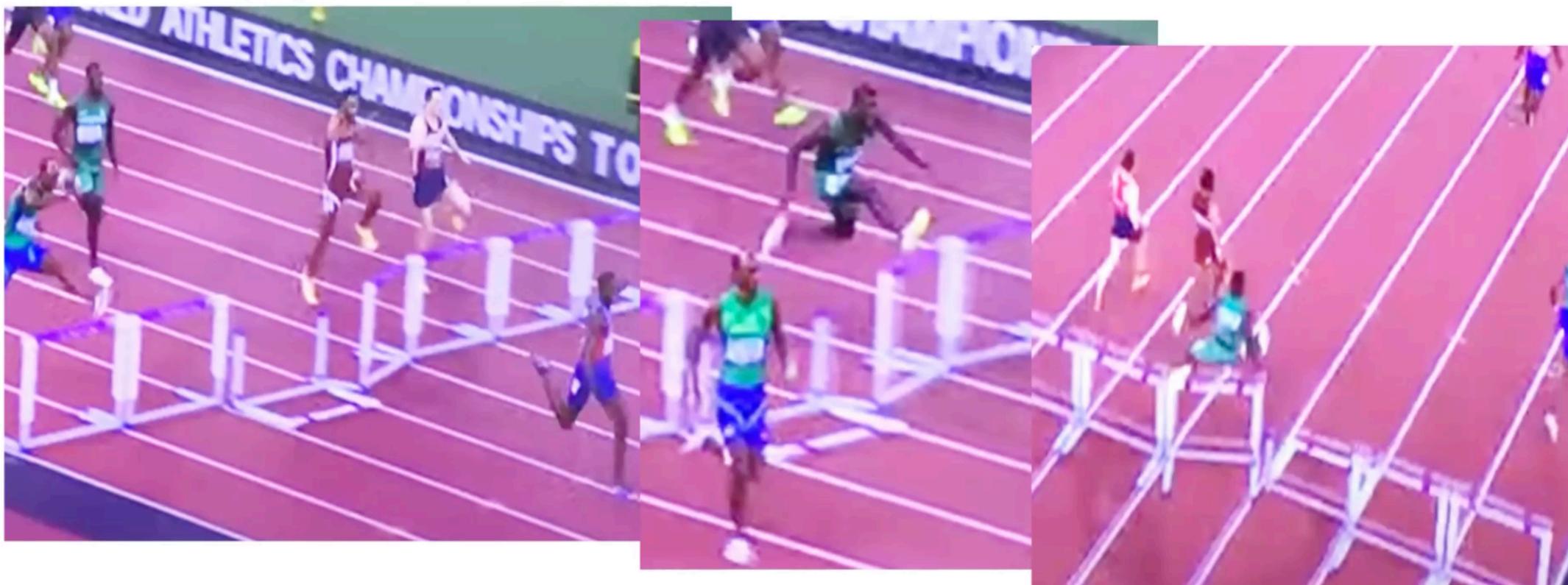
➤東京世界陸上2025 男子400mH決勝



2026年度修改正 競技会規則【TR】

• TR22.6 ハードル競技の失格事由の明確化

➤東京世界陸上2025 男子400mH決勝



2026年度修改正 競技会規則【TR】

• TR24.6 落としたバトンを拾うためにレーンを離れた後の動き①

バトンを落した場合、落とした競技者がバトンを拾って競技を継続する。

(現行)

競技者は距離が短くならないことを条件に、バトンを拾うために自分のレーンから離れてもよい。

バトンを落とした時、バトンが横や進行方向(フィニッシュラインの先も含む)に転がり、レーンから離れて拾い上げた後は、競技者はバトンを落とした地点に戻ってレースを再開しなければならない。

(修改正後)

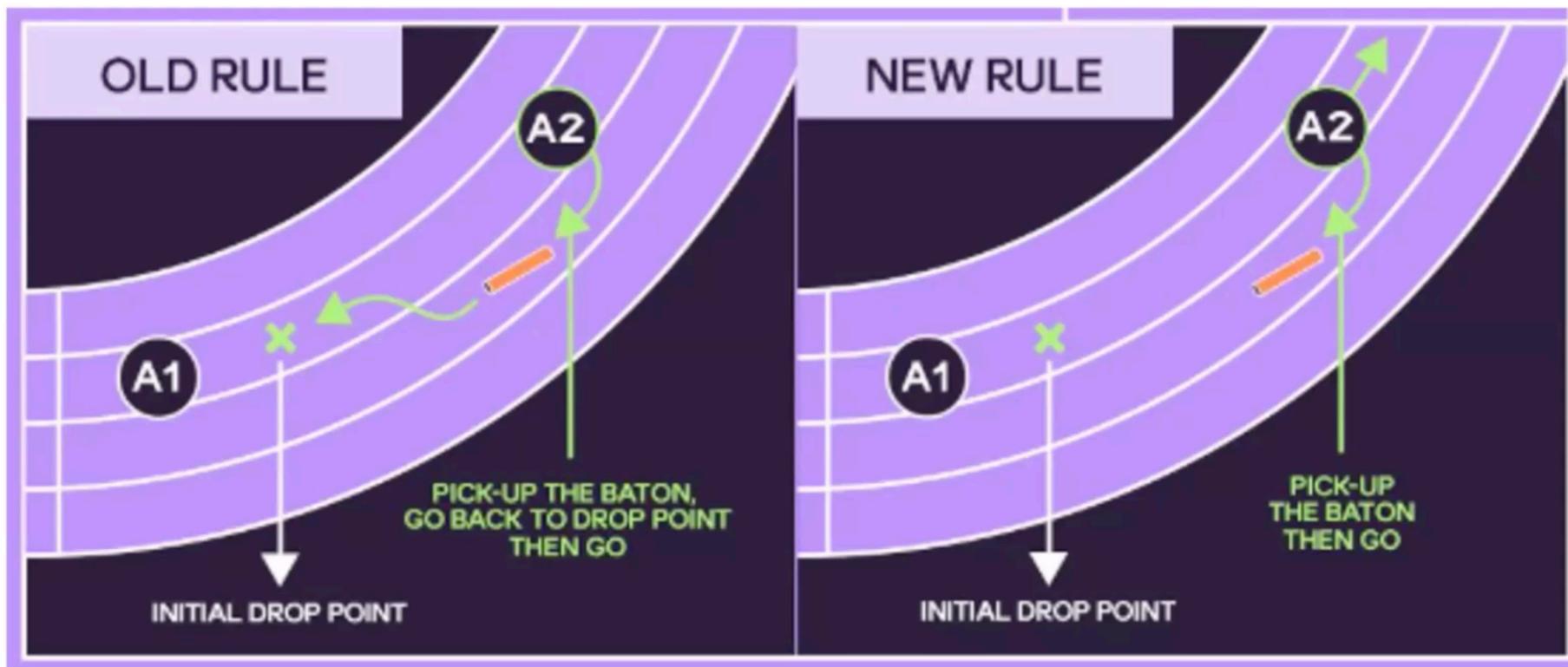
走る距離が短くなること、他の競技者を妨害することがあってはならない。

フィニッシュラインを通過する際は、当該チームの最終走者がバトンを持っていないなければならない。

→ 曲走路では自分のレーンから離れた方向が、内側か外側かをチェック

2026年度修改正 競技会規則【TR】

• TR24.6 落としたバトンを拾うためにレーンを離れた後の動き②

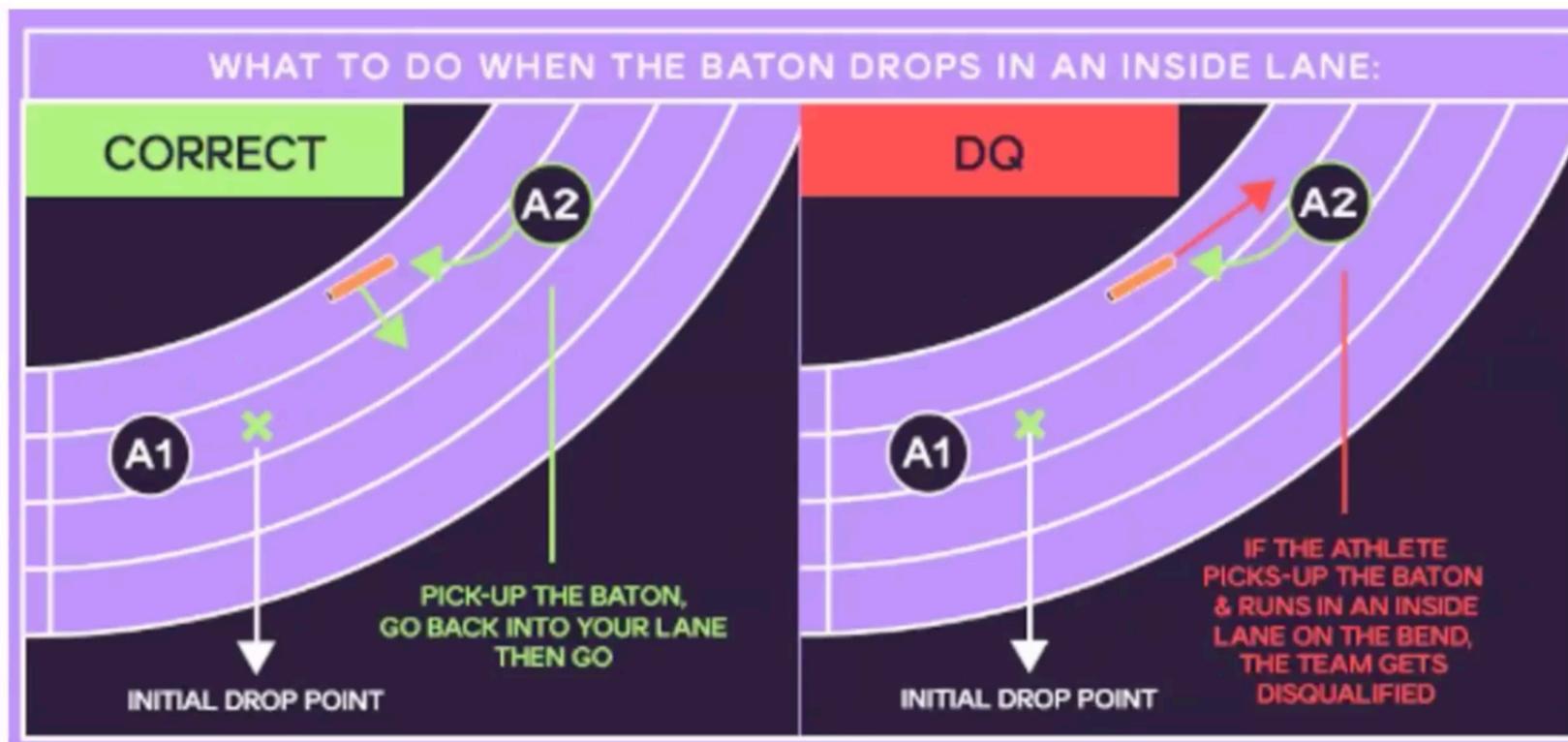


(従前)
バトンを落とした位置に戻ってから競技を続行しなければ失格となる

(修改正)
走る距離が短くならないければ、バトンを拾った位置から競技を続行しても失格にならない

2026年度修改正 競技会規則【TR】

• TR24.6 落としたバトンを拾うためにレーンを離れた後の動き③



(修改正後) バトンを拾った後の**正しいの走り方**
バトンを拾ってから**自分のレーンに戻って**
競技を続行すれば問題ない

(修改正後) バトンを拾った後の**失格となる走り方**
バトンを拾ってから**内側のレーンを走った後に**
自分のレーンに戻って続行した場合は失格

2026年度修改正 競技会規則【TR】

• TR24.6 落としたバトンを拾うためにレーンを離れた後の動き④

【原則】

- レーンで行うレースでは、自分に割り当てられたレーンを走らなければならない
内側のライン上またはその内側を踏んだり走ったりしてはならない
(TR17.2.3)
- リレー競技のレース中はバトンを手で持ち運ばなければならない
(TR24.5)
- バトンを落とした場合には、落とした競技者がバトンを拾って継続する
(TR24.6 前段)

2026年度修改正 競技会規則【TR】

• TR24.6 落としたバトンを拾うためにレーンを離れた後の動き⑤

【今次修改正】

- **不可抗力**等によってバトンを落とし、レーンを離れてバトンを拾い競技を再開する際に
走る距離が短くなっていなければ、バトンを持たずに走る部分があっても失格としない
- フィニッシュ手前でバトン落とし、前方に転がった場合は、バトンを拾った後にフィニッシュライン手前まで戻ってからレースを再開する必要がある
- **故意**にバトンを投げたり、落としたりしたら**失格**

2026年度修改正 競技会規則【TR】

• TR24.10 リレーの交代要員

〔国際〕	(現行)	最大4名まで
	(修改正後)	最大 2名 まで

• TR24.11、24.12 男女混合リレーの走順 (制定様式変更あり)

4×100m男女混合リレー、4×400m男女混合リレー共に
男子-女子-男子-女子 の順

2026年度修改正 競技会規則【TR】

• TR28.1 PVの試技開始の合図のタイミング

(考え方はこれまでと変更なし)

競技者がバーの位置の変更を希望する時は、事前に申告した希望位置でバーがセットされる前に、審判員に申し出る。試技時間のカウントが開始されたら、バーの位置をそれ以上変更することはできない。

(但し、WA解釈としてGreen (斜字) 部分に追加)

連続試技の場合、審判員は次の試技が始まる前に、バーの位置を変更する意思があるかどうかを競技者に確認する。

• TR29.5 LJ、TJの踏切位置判定ビデオ

TR30.1.1を適用した判定をするにあたり、審判員を支援するため、ワールドランニングコンペティション定義1.(a)(b)に該当する競技会においては、**1秒あたり120フレーム、最低でも4K解像度で撮影できるビデオ技術**を使用するものとする。

その他の競技会では、このような技術の使用が強く推奨されるが、**難しい場合は代替システム**を使用してもよい。

但し、**このような技術が利用できない場合は、踏切線のすぐ先に設置した粘土板を使用することができる。**

→ 国内競技会でビデオ判定を行う際に使用するカメラのスペックについては規定を設けないが、きちんと判定できる画質やコマ送り、スロー再生等の性能が備わっていることが望ましい。

2026年度修改正 競技会規則【TR】

• TR29.5 LJ、TJの踏切位置判定ビデオ②



競技用靴に関する規程の修正のポイント
(WA:2026.1.1～)

競技用靴に関する規程（WA）①

- 適用対象競技会 全てのWRk
- 使用可能シューズ 種目別に使用が認められている承認シューズ
承認シューズリスト記載のシューズ
[https:// certcheck.worldathletics.org/FullList](https://certcheck.worldathletics.org/FullList)
- 承認シューズ 市販シューズ（Available Shoe）
開発用シューズ（Development Shoe）
- カスタマイズ 医療目的の矯正に限定され、WAの事前承認要（承諾通知書）
軽微なものでもWAへの事前通知が必要
- 事前チェック（招集所） 不可
- 事後チェック 疑義があった場合、競技終了後にチェック
必要があれば現物回収、WAへ送付
- 未承認シューズの使用 失格
競技会終了までに承認・未承認の判定ができない場合は
記録は非公認（UNC TR5.2）
- シューズコントロールオフィサー 原則、シューズチェック専門担当者として任命

競技用靴に関する規程の国内適用①

	WA規程	国内適用
対象競技会	・全てのWRkに適用	・全てのWRkに適用 ・非WRkも原則として適用*
使用可能シューズ	・種目別に使用が認められている承認シューズを使用しなければならない ・承認シューズリスト https:// certcheck.worldathletics.org/FullList	
承認シューズ	・市販シューズ (Available Shoe) ・開発用シューズ (Development Shoe)	
カスタマイズ	・医療目的の矯正に限定され、WAの事前承認要 (承諾通知書の携帯必須) ・軽微なものでもWAへの事前通知が必要	

競技用靴に関する規程の国内適用②

	WA規程	国内適用
事前チェック (招集所)	・シューズチェックをしてはならない	<ul style="list-style-type: none"> ・招集所ではピンチェックのみで可 ・靴底厚の計測は不要 ・主催者判断で事前チェックを行うことは妨げないが、その際のチェックは承認シューズリストとの照会のみ実施 ・この場合、未承認靴であれば指摘し、交換を求める ・未承認靴のまま競技に参加した場合は、失格扱い ・承認靴／未承認靴の判定ができないまま競技に参加させることは可能だが、その情報は関係する他の審判員と共有
未承認シューズ での競技	<ul style="list-style-type: none"> ・競技会終了までに未承認シューズと判断された場合は失格とする。 ・競技会終了までに判断できない場合は、失格とせず、記録は非公認 (UNC TR5.2) とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・競技会終了までに未承認シューズと判断された場合は失格とする。 ・競技会終了までに判断できない場合は、失格とせず、記録は非公認 (UNC TR5.2) とする。 <ul style="list-style-type: none"> <結果発表時は「N.M」> <記録申請時には当該記録は除外> <記録証発行時は「非公認」と明記> ・後に承認シューズと判明したら、結果訂正

競技用靴に関する規程の国内適用③

	WA規程	国内適用
シューズ コントロール オフィサー	・原則、シューズチェック専門担当者として任命する	<ul style="list-style-type: none"> ・任命が必要な競技会（候補） ✓ WRk 1 : GGP、ラベルロードレース ✓ WRk 2 : アジア大会、WAパーミット競技会 ✓ WRk 3 : 一般およびU20の各日本選手権 全日本実業団、日本インカレ、 インターハイ ・その他競技会での任命は主催者判断で可 ・オフィサーと総務員の兼任も可 ・オフィサーを任命しない競技会では、トラック審判長、 フィールド審判長がチェック実施

* 国内・非WRkへの適用の考え方

- ・当該規程を適用するかどうかは、主催者判断
- ・普及的要素の強い競技会や競技レベルが高くない競技会では、適用することが現実的でないものもあり
- ・上位大会につながる競技会や競技レベルが高い競技会では、記録の公平性をより厳格に担保する観点から適用する

伝達内容

- 2026年度競技規則修改正
- 広告規程について
- 公認審判員制度改正について
- 東京世界陸上事例
- JTO/各種全国大会報告
- 質疑応答

2025年度 全国競技運営責任者会議

2026.2.11

Book C – C7.1



MARKETING AND ADVERTISING RULES

*(Approved by Council 21 March 2023,
effective 31 March 2023)*

『競技会における広告および展示物に関する規程』

2026修正 ※医療用テープに関する規程の修正 (BookC C-7.4) / (ガイドライン)

6.5 Any medical, bandage or general tape used by an Athlete may either be plain colour or display the Athlete's name on the tape. Commercial names/Logos on medical, bandage or general tape are not permitted. 【原文】

6.5 競技者が使用する医療用テープまたは一般的なテープは、無地でも、テープに競技者の名前が付いていても構わない。医療用テープまたは一般的なテープに記載される商品名/ロゴは、大会主催者の書面での承認が必要である。



6.5 競技者が使用する医療用テープまたは、一般的なテープは、無地でも、テープに競技者の名前が付いていても構わない。**商品名/ロゴの表示のある医療用テープまたは、一般的なテープの使用は認められない。**

〔注釈〕 商品名/ロゴの表示のある医療用テープまたは、一般的なテープの使用には、大会主催者の書面での承認が必要となる。

〈参照 Book C、C7.4『ガイドライン』「MEDICAL/GENERAL TAPE」の欄〉

※医療用テープに関する規程の修正（Book C C-7.4）

- 6.5 競技者が使用する医療用テープまたは、一般的なテープは、無地でも、テープに 競技者の名前が付いていても構わない。**商品名/ロゴの表示のある医療用テープまたは、一般的なテープの使用は認められない。**

〔注釈〕 商品名/ロゴの表示のある医療用テープまたは、一般的なテープの使用には、大会主催者の書面での承認が必要となる。

〈参照 Book C、C7.4『ガイドライン』「MEDICAL/GENERAL TAPE」の欄〉

〔国内〕 C7.1 1.1.1〔国内〕の競技会では、競技者は、競技規則に反しない限り、**商品名/ロゴの表示のある**医療用テープまたは、一般的なテープを使用することができる。表示できる製造会社(商品)名/ロゴは、1枚につき最大の大きさは、10cm²とする。

個人の所有物およびアクセサリ

すべてのタオル（ビーチ、バス、ハンド、フェイス）およびブランケット

- 1x 製造会社名/ロゴ
- 2x アスリートスポンサー名/ロゴ
- 1x 競技者名または個人のソーシャルメディアハッシュタグ



それぞれ
40cm²—
最大の高さ 5cm、長さ 10 cm

すべてのバッグ（タグとラベルを含む）

- 1x 製造会社名/ロゴ
- 2x アスリートスポンサー名/ロゴ
- 1x 競技者名/競技者個人のソーシャルメディアハッシュタグ



それぞれ
40cm²—
最大の高さ 5cm、長さ 10 cm

ドリンクボトル（最大1リットルのボトル）

- 2x 飲み物の提供者/製造者および(または)
アスリートスポンサー



それぞれ
40cm²— 最大の高さ 5cm

[国内] アスリートスポンサー名/ロゴのうちの1つを、あるいは、競技者名または個人的なソーシャルメディアハッシュタグを、所属団体名/ロゴまたは、学校名/ロゴにすることができる。高さは最大5cm、長さに制限なし。学校名/ロゴの大きさに制限はなし。

医療用テープ/一般的なテープ

競技者が使用する医療用テープまたは、一般的なテープは、無地でも、テープに競技者の名前が付いていても構わない。商品名/ロゴの表示のある医療用テープまたは、一般的なテープの使用には、大会主催者の書面での承認が必要となる。

[国内] 競技者は、競技規則に反しない限り、商品名/ロゴの表示のある医療用テープまたは、一般的なテープを使用することができる。表示できる製造会社（商品）名/ロゴは、1枚につき最大の大きさは、10cm²とする。

[



※医療用テープに関する規程の修正 ガイドライン

医療用テープ/一般的なテープ

競技者が使用する医療用テープまたは、一般的なテープは、無地でも、テープに競技者の名前が付いていても構わない。商品名/ロゴの表示のある医療用テープまたは、一般的なテープの使用には、大会主催者の書面での承認が必要となる。

[国内] 競技者は、競技規則に反しない限り、商品名/ロゴの表示のある医療用テープまたは、一般的なテープを使用することができる。表示できる製造会社（商品）名/ロゴは、1枚につき最大の大きさは、10 cm²とする。

具体例【ファイテン】



パワーテープ

繰り返し掲出 例 **×**

「1ヶ所以外を消すか、
使用しない」対応。

チタンテープ
1つ1つ扱い



資料編 II

現在2XUで新しいデザインの商品が複数出ている。

大きなエックスのデザインが入ったタイツなどは広告規定上NGとなっているが、新しいデザインでは薄くXの刺繍が入っているタイツもある。

どの程度まで違反とみなすか、陸連としての見解を確認したい。

【回答】 透かしだろうと、薄くだろうと、「掲出」が確認できれば、数とサイズで 判断。

レッグウォーマー：10cm² 最大高さあるいは、長さ 4cm。

※当該商品は サイズも長さも ×

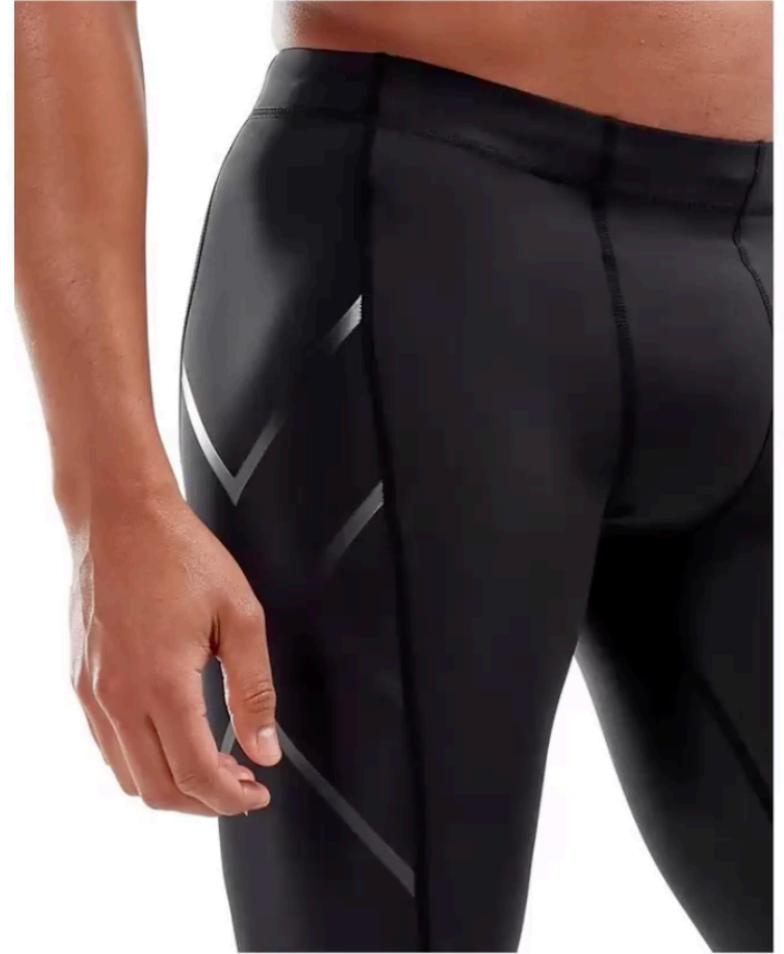
スパッツ：一か所 場所は問わないが 40cm² 最大高さ 5cm、最大長さ10cm。

「装飾的なデザインマーク」 体側または、裾に 連続または1つ 幅 10cm。

アルファベット付記のものは ×

※当該商品（グレー地）は 複数個掲出、また大きく『X』（透かし）も。体側に沿って認められる「装飾的なデザインマーク」としても認められないもの。

※当該商品（ブラック地）は 以前の黄金色ラインのもの同様に、「装飾的なデザインマーク」として認められないもの。



ルールブック P381

18. 競技者に対する制裁

- 18.1 本規程に違反している、または遵守するように要求されているが、遵守していない競技者は、以下の制裁の対象となる場合がある：
 - 18.1.1 警告を与えられる；
 - 18.1.2 競技エリアへの立ち入りを拒否または退去を要求される；
 - 18.1.3 競技会での失格；
 - 18.1.4 競技結果の無効；または
 - 18.1.5 罰金の宣言、または競技者の場合、出場料が、関連する大会主催者から競技者へ支払われない。
- 18.2 18.1で言及されている制裁は、関連する審判長によって本規程に準拠していない競技者に科せられる場合がある。
- 18.3 競技者に罰金が科せられた場合、罰金は、判決に従い本規程に違反した競技者が直接支払うものとする。



“花束” だけならよかったんだけど…



引退セレモニー



昨年秋の、国スポ でこんなことが起きました！

都道府県ユニフォームのはずなのに？



広告規程違反！！

広告規程違反！！



何が問題？

寺田選手の引退 セレモニー

今回、この種目に出場してなかった日本記録保持者の福部真子（日本建設工業）、田中佑美（富士通）、中島ひとみ（長谷川体育施設）、青木益未（七十七銀行）が駆けつけ、寺田に抱きついた。

実は4人ともそれぞれが、寺田明日香の夫でマネージャーを務める佐藤峻一さんに個別に連絡し「観に行きますし、何かしたんです」と伝えたという。その意向をまとめ、「じゃあみんなで」と計画。滋賀陸協の協力もありレース後のセレモニーが実現した。

寺田が契約するアディダスが製作したTシャツのほか、それぞれが花束や思いを込めた手紙などを持参した。「サプライズがうまくいかどうか気がかりでした」と田中は笑う。

広告規程違反！！



広告規程 C 7.4

1. 特定の定義

競技エリア (FOP)

競技者が競技を行う場所 (略) および競技者が表彰を受ける場合は、待機場所、ミックスゾーン、報道エリア、表彰台およびビクトリーランエリアも含まれる。

今後、

このような事象を繰り返さないために

『競技会における広告および展示物に関する規程』

を守っていただくために 審判長 との連携 と、

WA 競技規則 CR 30.に定めのある、

広告コミッショナーに準じた任務を専任する、

広告規程の管理担当者の任命を！！

伝達内容

- 2026年度競技規則修改正
- 広告規程について
- 公認審判員制度改正について
- 東京世界陸上事例
- JTO/各種全国大会報告
- 質疑応答

公認審判員制度の改訂に向けて

2026.2.11 (Wed.) 全国競技運営責任者会議

日本陸上競技連盟 競技運営委員会
審判員研修PT



◆改正を検討する背景

◆日本陸連の審判員制度の変遷

- 1948年：公認審判員制度を設ける
- 2002年：「3種－2種－1種－終身1種」
⇒「B級－A級－S級」へ改訂
- 2021年：C級を追加

◆改正を検討する背景

◆WAの審判員制度の変遷

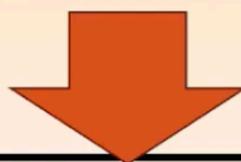
NTO／ITO という形態を経て、現行の4段階へ

- NAR
- WA Referee Bronze
- WA Referee Silver
- WA Referee Gold

◆改正を検討する背景

◆現状の課題

- 日本陸連とWAの制度が並立・一部重複
- WRK競技会ではWAレフェリー配置が必要
- 国際基準への対応が急務



より分かりやすく整理された審判員制度へと
集約する必要性が生じている

◆JAAFとWAの制度比較

JAAF	WA
<ul style="list-style-type: none">• C級：16歳以上• B級：18歳以上• A級：B級取得後10年以上 (以上、加盟団体審査)• S級：A級取得後10年以上 55歳以上 (陸連審査)	<ul style="list-style-type: none">• NAR：16歳以上、e-Learning + 実技3試合• Bronze：NAR3年、19歳以上、 e-Learning + Online試験• Silver：Bronze4年、23歳以 上、e-Learning + Webinars + 試験• Gold：Silver4年、27歳以上、 同上

◆アンケート結果

◆統合に賛成の理由

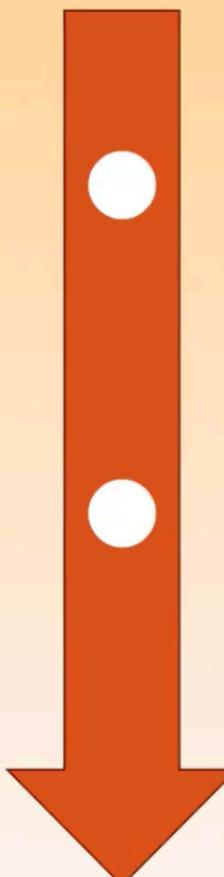
- 国内ルールと国際ルールの混乱を防げる
- 国内競技会もWAスタンダードへ移行すべき
- 日本陸連制度は昇級試験がなく実力評価が不十分

◆アンケート結果

◆統合に反対の理由

- ブロンズレフェリー試験のハードルが高い
- WA資格が紐づくると取得が難しくなる懸念
- eラーニング必須化で昇格意欲が低下
- 地方では資格が“栄章”として機能
- S級は日本陸連独自で残すべき
- 現行制度を維持しつつWA資格取得を希望

◆今後のスケジュール

- 
- **2026年3月以降**
理事会へ原案提示、意見聴取
 - **2026年夏ごろ**
ルールブック・ハンドブック等の修改正

2027年4月：新制度開始（予定）

◆その他

◆C級審判員について

活用されている加盟団体がある一方、

□ C級→B級への移行の壁

□ C級取得年齢の引き下げ要望 という声

◆B級でも主任が可能な現状への

基準設定を求める声

➡ 具体的な作業の中で整理していく

■「World Athletics Bronze Referee」 資格取得試験に向けた「人材バンク登録」について

1. 今後、「ブロンズ写真判定員」および「ブロンズスターター」試験を実施予定
→現時点では具体的な連絡が届いていない状況、推薦手続きの円滑化
2. 登録期限 → **2026年2月28日(土)**
 - (1) B級取得後3年以上経過し、加盟団体が責任をもって推薦する者。
※各都道府県大会におけるWRk競技会において、今後永く主任を担うことが見込まれる方を推薦。
 - (2) 加盟団体男女各1名
 - (3) 男女同数であること

■WRk競技会のブロンズレフェリーの配置について

1. WA 規則に準じて競技が行われていることを監督する「競技運営監督者」
→ 2025年5月19日発出文書「WRk競技会に於ける競技運営監督者について」の体勢を原則保持

2. 日本選手権、WAコンチネンタルツアー（GGP、静岡国際、木南記念、織田記念）、ラベルロードレース
→ **審判長、主任はブロンズレフェリーを配置**

※審判長にブロンズレフェリー以上の者が配置できる場合には「競技運営監督者」の配置は不要

■競技会運営の合理化に向けたアンケートの実施

1. 少子高齢化に対応した今後の競技会運営の在り方
 - 限られた人数での競技会運営
 - 持続可能な競技会運営の構築
2. 東京陸協の取り組み
 - ①「フィールド審判員」 → 跳躍審判員と投てき審判員を合わせる
競技実施日の偏りに対応が可能、委嘱時のバランスの見極め
 - ②「周回記録員」と「風力計測員」の兼務の検討
3. 回答期限 → 2026年1月26日(月)
今後、アンケート結果の集計

伝達内容

- 2026年度競技規則修改正
- 広告規程について
- 公認審判員制度改正について
- 東京世界陸上事例
- JTO/各種全国大会報告
- 質疑応答

世界陸上2025東京大会 ビデオ判定事例

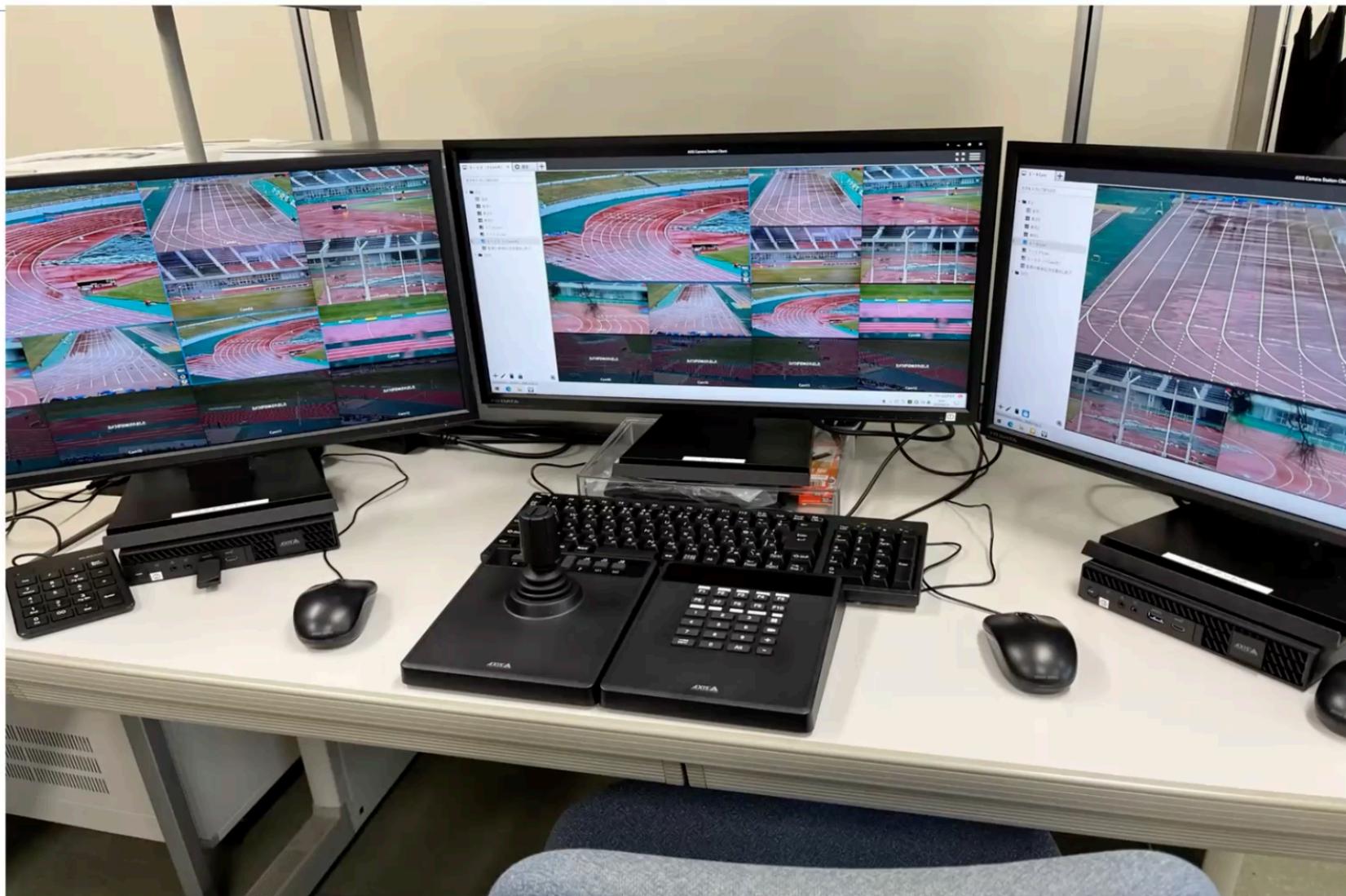
～ルール解釈・適用の参考として～

2026年2月11日

日本陸上競技連盟

競技運営委員会

ビデオルーム①（国内設備）



ビデオルーム② (WA設備)



抗議を却下

- 男子1500m予選

1300m付近で押合いや接触があり、2名の選手が転倒



立ち上がった後、二人で並んでジョッグをしながらフィニッシュ



結果発表後、両チームから抗議（救済）申立



ビデオ審判長は抗議を却下

「DNFではないが、誠実に力を尽くして完走していない」（TR17.1 最後段）

イエローカード

- 男子100m 優勝者がフィニッシュ後にユニフォームを自ら切り割く (衣類規則違反)
- 男子マラソン 給水所で他競技者の飲食物取得 (反スポーツマンシップ行為)
- 女子マラソン 給水所で他競技者の飲食物取得 (反スポーツマンシップ行為)
- 女子マラソン 給水所以外で飲食物受取 (反スポーツマンシップ行為)

伝達内容

- 2026年度競技規則修改正
- 広告規程について
- 公認審判員制度改正について
- 東京世界陸上事例
- JTO/各種全国大会報告
- 質疑応答

2025年度JTOS活動報告

日本陸上競技連盟 競技運営委員会

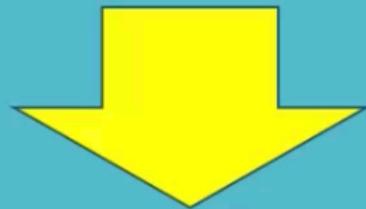
今回の報告発表の中から2点をピックアップ

- 1 400m決勝において、1着フィニッシュの競技者に黄旗
(日本選手権)
(1) 結果発表 (2) 抗議対応
- 2 円盤投予選において、電源ドラムのオーバーヒート
(IH)
(1) 施設事故の可能性

1 400m決勝において、1着フィニッシュの競技者に黄旗
(日本選手権)

(1) 結果発表

- ① 1着の競技者に黄旗ということでビデオの確認が必須と考えJTOと共に審判長Aが確認に動く。Jソパティションディクターへは、結果発表が遅れると連絡。
- ② 確認中、Jソパティションディクターから競技結果がOfficialで発表されていると連絡あり。審判長Bが監察員の報告どおりとして失格の裁定を出した。



(1) 結果発表

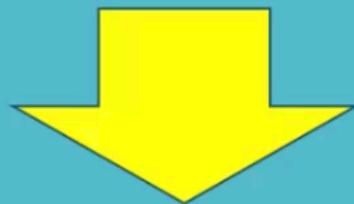
2人の審判長の間で、ビデオ確認中のため発表を遅らせることの意味疎通が取れていなかった。

(2) 抗議対応

- ③審判長Aは、ビデオの確認をし1つ目のビデオは画質が怪しいが複数回、内側のラインを踏んだように見える。2つ目のビデオでは「踏み越し」を確認し、失格と判断した。
- ④結果発表があったことで抗議があり、説明を求められる。審判長Bが「踏み越し」で失格と説明し、リザルトの失格事由を訂正した。
(リザルトは「複数回内側のラインを踏んだ」)

(2) 抗議対応

- ⑤抗議者は「踏み越していない」ということで上訴するが、
 ジュリーは審判長裁定を支持。
- ⑥後日、当該チームから「お伺い書」が日本陸連に提出される。
 (踏み越していないこと、失格事由が2回変更となっていること。等)
- ⑦数日後、関係者で対応し、陸連事務局から回答をする。
 (最終結果：失格としない。)



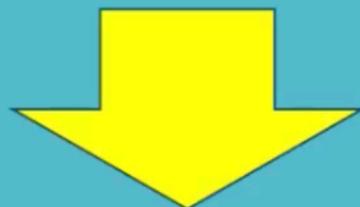
(2) 抗議対応

- ① 説明者は極力、ビデオ判定等を確認し、事象を確実に説明できるものを行う。
- ② (結果発表を含むが) 失格とする場合は、その対象となる事象を明らかにした上で、根拠となる条文番号を明確にして説明する。

2 円盤投予選において、電源ドラムのオーバーヒート (IH)

(1) 施設事故の可能性

- ①競技途中、タイマー、EDMが動作しなくなる。
- ②現場確認の結果、電源ドラムのオーバーヒートと判明。
熱を逃がし復旧。



一歩間違えれば、施設の一部停電や火事のおそれがあった。

(1) 施設事故の可能性

ケーブルについて

ケーブルは、銅線を被覆で覆ったもので、電気を通すと熱を帯びてくる。温度が上昇すると銅線内の抵抗値が上がり電気が通りにくくなる。

【構造】



※サイズにより、介在や押え巻きテープを施してある場合がございます。

【識別】



©富士電線工業(株)のカタログから
一部抜粋して引用

(1) 施設事故の可能性
電源ドラムについて



必要な分だけケーブルを引き出し使用する
ドラムにケーブルが残った状態

(1) 施設事故の可能性 電源ドラムについて

本来はすべてのケーブルを引き出し使用する
ドラムにケーブルが残らない状態

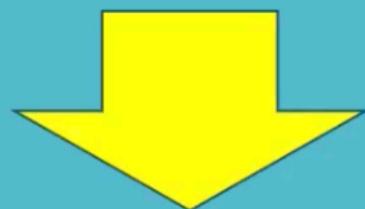
理由：通電時、熱を帯びてくるため放
熱できるようにするため



(1) 施設事故の可能性

ドラムにケーブルが残ったまま機器を使用し続けると、ケーブルが束となっているため、熱を帯び徐々に加熱してくる。

温度が上昇したことによってケーブルの被覆が損傷する可能性あり。



(1) 施設事故の可能性

損傷の具合によって、ケーブルでショート（短絡）等が起こることにより

①施設の遮断器が切れる（落ちる） → 施設の一部停電

②温度上昇やショートした火花等によりケーブルの火災

暑熱対策について、人間、電子機器だけでなく、加熱するものは注意が必要である。

伝達内容

- 2026年度競技規則修改正
- 広告規程について
- 公認審判員制度改正について
- 東京世界陸上事例
- JTO/各種全国大会報告
- 質疑応答

質疑応答

ご清聴ありがとうございました